

2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月26日

上場会社名 日東電工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6988 URL <https://www.nitto.com/jp/ja/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 秀雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務本部長 (氏名) 伊勢山 恭弘 TEL 06-7632-2101
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年11月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	357,737	△5.4	42,367	3.1	41,822	2.0	30,573	4.8	30,544	4.8	28,322	110.4
2020年3月期第2四半期	378,285	△6.3	41,102	△20.0	41,016	△18.3	29,162	△17.1	29,133	△17.1	13,459	△66.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	204.73	204.59
2020年3月期第2四半期	185.71	185.57

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	898,950	669,910	669,145	74.4
2020年3月期	921,900	690,204	689,446	74.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2021年3月期	—	100.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	100.00	200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	715,000	△3.5	75,000	7.6	75,000	8.7	52,000	10.1	52,000	10.3	351.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	158,758,428株	2020年3月期	158,758,428株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	10,792,338株	2020年3月期	4,839,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	149,194,091株	2020年3月期2Q	156,874,153株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

第一部 (参考) 2021年3月期第2四半期 (3ヶ月) の連結業績
(2020年7月1日～2020年9月30日)

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期 第2四半期	194,427	△3.3	24,925	△5.0	24,592	△6.0	18,520	△1.8	18,506	△1.8	17,014	17.0
2020年3月期 第2四半期	201,046	△4.6	26,224	5.6	26,167	8.2	18,869	4.8	18,851	4.8	14,539	△34.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	125.07	125.00
2020年3月期第2四半期	120.15	120.06

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響を大きく受け、後半において回復がみられたものの、そのスピードは緩やかであり、先行きの不透明感は依然として継続しています。このような環境のなか、当社グループの主要な市場においては、テレワークの拡大などを背景に、ノートパソコン、タブレット端末向けの部材およびスマートフォンなどの電子機器の組み立て用部材並びに半導体の生産における工程用部材の需要が伸長しました。また、TV用汎用偏光板において協業先との連携を強め、技術供与によるロイヤリティ収益を計上しました。核酸医薬関連事業につきましては、COVID-19治療薬やワクチン開発など核酸医薬への期待はこれまで以上に高まっており、受託製造事業に加え関連部材の需要が堅調に推移しました。加えて、医療用マスク材料として多孔質部材に対する期待も高まっています。

一方、自動車市場は、COVID-19の影響を強く受け、後半において徐々に回復がみられたものの、市場における自動車生産台数は前第2四半期連結累計期間に及ばず、需要は低調に推移しました。また、スマートフォンの光学フィルムにおいては、スマートフォンメーカー各社間で強弱が見られ、全体として需要は減少しました。

なお、NittoグループにおけるCOVID-19による影響としましては、各国政府・地域行政の指示に従い、一定期間、操業を停止した海外グループ拠点がございましたが、2020年9月末時点においては全て稼働しております。

以上の結果、売上収益は前第2四半期連結累計期間と比較し5.4%減(以下の比較はこれに同じ)の357,737百万円となりました。また、営業利益は3.1%増の42,367百万円、税引前四半期利益は2.0%増の41,822百万円、四半期利益は4.8%増の30,573百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4.8%増の30,544百万円となりました。

セグメント別の業績概況

① インダストリアルテープ

基盤機能材料では、一般工業および住宅関連部材や金属向けの保護材料などが、COVID-19の影響を大きく受け、後半においては回復がみられたものの、その需要は前第2四半期連結累計期間の水準には及びませんでした。一方、テレワークの拡大を背景に、パーソナルコンピューターおよびサーバー向けのセラミックコンデンサーや半導体の製造工程で使用される関連部材の需要が拡大しました。また、ハイエンドスマートフォンの生産における組み立て用部材の需要も伸長しました。

トランスポーターション事業では、COVID-19の影響による欧米における自動車生産台数の減少の影響が大きく、徐々に需要は回復がみられたものの前第2四半期連結累計期間に及ばず生産調整などの対応を行いました。

以上の結果、売上収益は137,981百万円(15.5%減)、営業利益は8,471百万円(37.4%減)となりました。

② オプトロニクス

情報機能材料では、テレワークの拡大などを背景にノートパソコン、タブレット端末向け偏光板の需要が拡大しました。スマートフォンは、本格的な生産シーズンを迎えたものの、COVID-19の影響によりスマートフォンメーカー各社間で強弱が見られ、全体として光学フィルムの需要は減少しました。一方、OLEDディスプレイへの対応を進め、採用が拡大しました。TV市場は、パネルメーカーの供給能力の拡大にともない需給バランスが大きく変化しているなか、TV用汎用偏光板は低調に推移しましたが、協業先との連携を強め、技術供与によるロイヤリティ収益を計上しました。

プリント回路では、COVID-19の影響によりハードディスクドライブ(HDD)の生産台数がパーソナルコンピューター用途をはじめ低調に推移したものの、データセンター用途の高容量化にともなう需要が堅調に推移しました。また、プリント回路事業における高い技術力を活かしたワイヤレス充電システムにおける補聴器用部材への展開に加え、新たにスマートフォン市場への参入を進めました。

以上の結果、売上収益は207,714百万円(2.2%増)、営業利益は37,768百万円(22.0%増)となりました。

③ ライフサイエンス

ライフサイエンスでは、核酸医薬の受託製造において、市場の成長により需要は堅調に推移しました。加えて、COVID-19の治療薬やワクチンとして核酸医薬品への期待がこれまで以上に高まっており、核酸医薬合成用ポリマービーズNittoPhase(ニトフェーズ)の需要が拡大しました。一方、COVID-19による病院への通院者数の減少などにより経皮吸収型テープ製剤や医療用衛生材料の需要が減少しました。

核酸医薬の創薬においては、引き続き、肺繊維症および難治性のがん治療薬での治験に取り組んでおります。

以上の結果、売上収益は13,799百万円(8.2%増)、営業損失は1,315百万円(前年同四半期は営業損失1,971百万円)となりました。

④ その他

メンブレン（高分子分離膜事業）では、COVID-19の影響を大きく受け、各種産業用途やエネルギー分野における需要が低調に推移しました。後半においては回復がみられたものの前第2四半期連結累計期間の水準には及びませんでした。なお、当セグメントには未だ十分な売上収益を伴っていない新規事業が含まれております。

以上の結果、売上収益は11,800百万円（17.3%減）、営業損失は2,364百万円（前年同四半期は営業損失847百万円）となりました。

(参考) セグメント別の状況 (6ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	基盤機能材料	90,964	87,366	96.0
	トランスポートーション	72,274	50,614	70.0
	計	163,238	137,981	84.5
	営業利益	13,527	8,471	62.6
オプトロニクス	情報機能材料	182,541	183,783	100.7
	プリント回路	20,629	23,930	116.0
	計	203,170	207,714	102.2
	営業利益	30,961	37,768	122.0
ライフサイエンス	売上収益	12,752	13,799	108.2
	営業利益	△1,971	△1,315	—
その他	売上収益	14,260	11,800	82.7
	営業利益	△847	△2,364	—
全社・消去	売上収益	△15,136	△13,557	—
	営業利益	△567	△191	—
合計	売上収益	378,285	357,737	94.6
	営業利益	41,102	42,367	103.1

※ 第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、報告セグメントの分類に一部変更があります。前第2四半期連結累計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (3ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	基盤機能材料	47,247	47,212	99.9
	トランスポート ーション	36,189	29,868	82.5
	計	83,436	77,080	92.4
	営業利益	7,960	6,820	85.7
オプトロニクス	情報機能材料	101,132	98,001	96.9
	プリント回路	10,835	13,539	125.0
	計	111,967	111,541	99.6
	営業利益	19,909	20,051	100.7
ライフサイエンス	売上収益	6,896	6,755	98.0
	営業利益	△547	△797	—
その他	売上収益	6,621	6,407	96.8
	営業利益	△821	△1,342	—
全社・消去	売上収益	△7,874	△7,357	—
	営業利益	△276	193	—
合計	売上収益	201,046	194,427	96.7
	営業利益	26,224	24,925	95.0

※ 第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、報告セグメントの分類に一部変更があります。前第2四半期連結会計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (年度予想)

(単位: 百万円 比率: %)

		当連結会計年度 (今回予想) (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
		売上収益	前年同期比
インダストリアルテープ	基盤機能材料	175,000	96.6
	トランスポートーション	110,000	80.1
	計	285,000	89.5
	営業利益	15,000	73.1
オプトロニクス	情報機能材料	344,000	96.9
	プリント回路	56,000	129.4
	計	400,000	100.4
	営業利益	68,500	119.6
ライフサイエンス	売上収益	30,500	112.4
	営業利益	0	—
その他	売上収益	24,000	89.1
	営業利益	△5,000	—
全社・消去	売上収益	△24,500	—
	営業利益	△3,500	—
合計	売上収益	715,000	96.5
	営業利益	75,000	107.6

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ資産合計は22,949百万円減少し、898,950百万円となり、負債合計は2,655百万円減少し、229,040百万円となりました。また、資本合計は20,293百万円減少し、669,910百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の74.8%から74.4%になりました。

主な増減は資産では、現金及び現金同等物が41,642百万円減少、売上債権及びその他の債権が15,901百万円増加、無形資産が2,030百万円増加、金融資産が1,668百万円増加しました。負債では、仕入債務及びその他の債務が2,877百万円増加、未払法人所得税等が1,030百万円減少、その他の金融負債（流動）が4,697百万円減少、その他の金融負債（非流動）が1,164百万円減少、確定給付負債が1,289百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想は、2020年7月27日時点で入手可能な情報や予測等に基づき公表いたしました。テレワークの拡大などを背景に、ノートパソコン、タブレット端末向けの部材およびスマートフォンなどの電子機器の組み立て用部材並びに半導体の生産における工程用部材の需要が伸長しております。また、トランスポーター事業においてCOVID-19の影響が当時の想定を上回るペースでの回復がみられます。

当第2四半期連結累計期間における業績やこのような状況などを勘案し、2021年3月期の連結業績予想を見直すことといたしました。なお、第3四半期以降の為替レートについては、1米ドル=105円を想定しております。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日から2021年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	675,000	64,000	64,000	45,000	45,000	301.95
今回修正予想 (B)	715,000	75,000	75,000	52,000	52,000	351.43
増減額 (B-A)	40,000	11,000	11,000	7,000	7,000	—
増減率 (%)	5.9	17.2	17.2	15.6	15.6	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	741,018	69,733	69,013	47,224	47,156	301.32

上記の業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	304,922	263,280
売上債権及びその他の債権	154,473	170,375
棚卸資産	96,124	95,610
その他の金融資産	2,642	1,838
その他の流動資産	17,893	18,294
流動資産合計	576,056	549,398
非流動資産		
有形固定資産	266,948	266,562
使用権資産	16,266	15,890
のれん	4,852	4,626
無形資産	10,198	12,228
持分法で会計処理されている投資	206	1,075
金融資産	7,242	8,910
繰延税金資産	25,694	25,937
その他の非流動資産	14,434	14,321
非流動資産合計	345,843	349,551
資産合計	921,900	898,950

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	90,811	93,688
社債及び借入金	90	129
未払法人所得税等	10,036	9,005
その他の金融負債	24,050	19,352
その他の流動負債	36,907	36,672
流動負債合計	161,895	158,848
非流動負債		
その他の金融負債	18,976	17,812
確定給付負債	48,272	49,561
繰延税金負債	284	639
その他の非流動負債	2,266	2,178
非流動負債合計	69,800	70,191
負債合計	231,696	229,040
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	26,783	26,783
資本剰余金	50,271	50,094
利益剰余金	643,521	658,674
自己株式	△27,505	△60,435
その他の資本の構成要素	△3,624	△5,972
親会社の所有者に帰属する持分合計	689,446	669,145
非支配持分	757	764
資本合計	690,204	669,910
負債及び資本合計	921,900	898,950

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	378,285	357,737
売上原価	265,743	247,228
売上総利益	112,542	110,509
販売費及び一般管理費	54,926	50,885
研究開発費	16,524	17,261
その他の収益	2,781	2,294
その他の費用	2,771	2,289
営業利益	41,102	42,367
金融収益	471	275
金融費用	577	838
持分法による投資損益 (△は損失)	20	16
税引前四半期利益	41,016	41,822
法人所得税費用	11,853	11,248
四半期利益	29,162	30,573
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	29,133	30,544
非支配持分	29	29
合計	29,162	30,573
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	185.71	204.73
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	185.57	204.59

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	29,162	30,573
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	△116	244
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△15,577	△2,491
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	△1	△1
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△7	△2
その他の包括利益合計	△15,703	△2,251
四半期包括利益合計	13,459	28,322
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	13,432	28,292
非支配持分	26	29
合計	13,459	28,322

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2019年4月1日残高	26,783	50,319	622,025	△11,081	12,395	700,443	744	701,187
四半期利益	—	—	29,133	—	—	29,133	29	29,162
その他の包括利益	—	—	—	—	△15,700	△15,700	△2	△15,703
四半期包括利益合計	—	—	29,133	—	△15,700	13,432	26	13,459
株式報酬取引	—	△37	—	—	△121	△158	—	△158
配当金	—	—	△14,116	—	—	△14,116	△23	△14,140
自己株式の変動	—	△12	—	275	—	263	—	263
子会社持分の追加取得による増減	—	1	—	—	—	1	△32	△30
所有者との取引額等 合計	—	△48	△14,116	275	△121	△14,010	△55	△14,065
2019年9月30日残高	26,783	50,271	637,042	△10,805	△3,426	699,866	714	700,581

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2020年4月1日残高	26,783	50,271	643,521	△27,505	△3,624	689,446	757	690,204
四半期利益	—	—	30,544	—	—	30,544	29	30,573
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,251	△2,251	0	△2,251
四半期包括利益合計	—	—	30,544	—	△2,251	28,292	29	28,322
株式報酬取引	—	△200	—	—	△95	△296	—	△296
配当金	—	—	△15,391	—	—	△15,391	△22	△15,414
自己株式の変動	—	24	—	△32,929	—	△32,905	—	△32,905
所有者との取引額等 合計	—	△176	△15,391	△32,929	△95	△48,593	△22	△48,616
2020年9月30日残高	26,783	50,094	658,674	△60,435	△5,972	669,145	764	669,910

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	41,016	41,822
減価償却費及び償却費	24,557	23,796
減損損失	12	112
確定給付負債の増減額	1,528	1,286
売上債権及びその他の債権の増減額	△15,267	△16,635
棚卸資産の増減額	△5,716	345
仕入債務及びその他の債務の増減額	877	3,158
利息及び配当金の受入額	461	300
利息の支払額	△293	△324
法人税等の支払額又は還付額	△5,396	△12,852
その他	2,524	△381
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,304	40,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△34,387	△30,107
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	230	120
定期預金の増減額	△1,492	802
投資有価証券の取得による支出	△696	△322
関係会社株式の取得による支出	—	△879
その他	0	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,345	△30,392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	120	39
リース負債の返済による支出	△2,615	△2,744
自己株式の増減額	△0	△33,309
配当金の支払額	△14,130	△15,391
その他	△46	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,672	△51,430
現金及び現金同等物に係る為替換算差額の影響額	△4,976	△448
現金及び現金同等物の増減額	△13,690	△41,642
現金及び現金同等物の期首残高	297,682	304,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	283,991	263,280

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位: 百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	155,412	199,271	10,460	12,608	377,754	531	378,285
セグメント間の売上収益	7,825	3,898	2,291	1,651	15,667	△15,667	—
セグメント売上収益合計	163,238	203,170	12,752	14,260	393,421	△15,136	378,285
営業利益(△は損失)	13,527	30,961	△1,971	△847	41,669	△567	41,102
金融収益							471
金融費用							△577
持分法による投資損益 (△は損失)							20
税引前四半期利益							41,016

(注) 第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、報告セグメントの分類に一部変更があります。前第2四半期連結累計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料、プロセス材料等)、自動車材料
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	131,278	203,715	11,871	10,412	357,279	458	357,737
セグメント間の売上収益	6,702	3,998	1,927	1,387	14,015	△14,015	—
セグメント売上収益合計	137,981	207,714	13,799	11,800	371,295	△13,557	357,737
営業利益(△は損失)	8,471	37,768	△1,315	△2,364	42,559	△191	42,367
金融収益							275
金融費用							△838
持分法による投資損益 (△は損失)							16
税引前四半期利益							41,822

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料、プロセス材料等)、自動車材料
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年1月27日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式33,308百万円を取得いたしました。また、2020年6月19日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結会計期間において譲渡制限付株式報酬として自己株式189百万円を処分いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己株式数は10,792千株、帳簿価額は60,435百万円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。